

製品名: PEF1 ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe02419**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IP
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル抗体
形態	液体
濃度	1.47mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50mM トリスグリシン（pH 7.4）、0.15M NaCl、40%グリセロール、0.01%アジ化ナトリウム、0.05%保護タンパク質
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:1000,IP 1:20-1:50
分子量	Calculated MW: 30 kDa; Observed MW: 30 kDa

抗原情報

遺伝子名	PEF1
別名	penta-EF-hand domain containing 1; ABP32; PEF1A
遺伝子 ID	553115
SwissProt ID	Q9UBV8
免疫原	ヒト PEF1 の合成ペプチド

背景

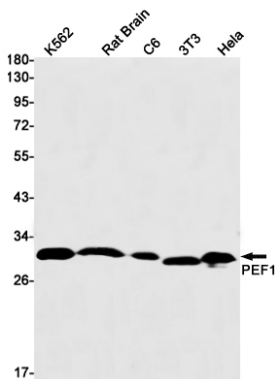
カルシウム結合タンパク質。カルシウムに反応して、無関係なタンパク質を架橋したり、弱いタンパク質-タンパク質複合体を安定化

させるアダプターとして機能する。PDCD6と共に、小胞体 (ER) -ゴルジ体輸送に関与する複合体である BCR(KLHL12)複合体のカルシウム依存性アダプターとして機能し、COPII コートのサイズを調節する (PubMed:27716508)。細胞質カルシウム濃度の上昇にตอบสนองして、PDCD6と共に形成されるヘテロ二量体は、BCR(KLHL12)複合体と SEC31 (SEC31A または SEC31B) と相互作用し、両者を架橋する。これにより、SEC31 のモノユビキチン化と、神経堤の分化に必要なコラーゲン輸送が促進される (PubMed:27716508)。しかしながら、PDCD6 と形成されるヘテロ二量体における PEF1 の役割は不明である。いくつかの報告では、PEF1 と PDCD6 はカルシウム存在下で協働し、PDCD6 と SEC31 の会合を促進することが示唆されている (PubMed:27716508)。また、PEF1 はカルシウム存在下で PDCD6 から解離し、PDCD6 の負の調節因子として機能する可能性があることも示唆されている (PubMed:11278427)。さらに、PEF1 は ER-ゴルジ体輸送の負の調節因子としても機能し、PDCD6 と SEC31 の相互作用を阻害する可能性がある。

研究分野

細胞生物学

画像データ



PEF1 抗体を使用した K562、ラット脳、C6、3T3、Hela 溶解物中の PEF1 のウエスタンブロット分析。